

平成31年2月 診療予定表

(午前:9:00~12:00 午後:3:00~6:00) ※予告無く変更となる場合があります。

日	曜日	午前診				午後診			糖尿病	当直
		内科・一診	内科・二診	内科・三診	小児科	内科・一診	内科・二診	内科・三診		
1	金	前田隆	多田羅		辻	佐尾山			鈴木一	三谷
2	土	前田純	鈴木康		濱田	前田純			谷口	高橋
3	日	休診(日直 高橋)								穴田
4	月	前田純	前田隆	加藤	濱田	前田純	多田羅			竹崎
5	火	前田純	河野	佐尾山	辻	佐尾山	河野			河野
6	水	岸	多田羅	佐尾山	濱田	岸				藤原
7	木	佐尾山	多田羅		辻	佐尾山	隈元			山田
8	金	前田隆	多田羅	佐尾山	辻	佐尾山				湯澤
9	土	渡邊	鈴木康		濱田	渡邊				桑原
10	日	休診(日直 桑原)								森
11	月	休診(日直 藤原)								
12	火	前田純	河野	佐尾山	辻	佐尾山	河野			河野
13	水	岸	多田羅	佐尾山	濱田	岸				湯澤
14	木	佐尾山	多田羅		辻	佐尾山	隈元			山田
15	金	前田隆	多田羅		辻	佐尾山			鈴木一	白石
16	土	前田純	鈴木康		濱田	前田純				古川
17	日	当番医(内科:古川・小児科:辻)				当番医(内科:藤原・小児科:辻)				渡部
18	月	前田純	前田隆	加藤	濱田	前田純				竹崎
19	火	前田純	河野	佐尾山	辻	佐尾山	河野			河野
20	水	岸		佐尾山	濱田	岸				森
21	木	佐尾山			辻	佐尾山	隈元			山田
22	金	前田隆	多田羅		辻	佐尾山			鈴木一	湯澤
23	土	前田隆	鈴木康		濱田	前田隆			谷口	堀尾
24	日	休診(日直 堀尾)								穴田
25	月	前田純	前田隆	加藤	濱田	前田純	多田羅			竹崎
26	火	前田純	河野		辻	河野				河野
27	水	岸	多田羅	佐尾山	濱田	岸				木場
28	木	佐尾山	多田羅		辻	佐尾山	隈元			山田

専門外来	消化器内科	前田純 河野寿明	糖尿病外来	鈴木一永 谷口洋
	消化器外科	鈴木康之 隈元謙介	泌尿器科	多田羅潔
	呼吸器外科	加藤歩	小児科	濱田嘉徳 辻正子

ふれあいの箱
 皆様のご意見、ご要望等
 ございましたらお聞かせ
 下さい
 VOICE BOX
 当院では、正面玄関や病棟に「ふれあいの箱」というご意見箱を設置しておりますので、当院に対するご意見・ご要望等ございましたらご遠慮なくお聞かせください。

普通寺 前田病院

広報 純心便り

2019年
2月
 第132号

トピックス

- 今月の一言………理事長
- 初詣
- 破傷風について
- 旬の素材で簡単料理………給食

「純心会理念」
 信頼される医療
 想いと優しさの伝わるケア
 私たちはそれを目指します



理事長 前田隆史

今月の一言

二月に入り、相変わらず晴れの日が続いております。昨日は、山口県の秋芳洞で春の恒例の山焼きがあり、いよいよ春も間近になってきました。

最近はいろいろな出来事が新聞紙上をにぎわしております。今冬のインフルエンザの流行は、よい薬ができているとはいえ大変でした。スポーツでは、プロ野球の春のキャンプも始まりました。水泳の池江璃花子選手の白血球発病のことですが、抜群の強さを誇っていただけに完全に治しての再起を祈るところです。

社会面では、日本の「技術の結晶」和牛の受精卵や精子が海外へ持ち出されそうになったり、2006年に開発された「シャインマスカット」の苗が流出し、すでに中国で販売、輸出されているようです。

テレビに映し出されております。特にコンビニや飲食店のアルバイト店員がお店の商品を不潔にして、それを販売したりする動画をSNSで配信しております。被害にあったコンビニ等では、それらの店員を解雇し、民事刑事責任追及へ向いているようです。当の本人達は、悪ふざけ程度にしか思っていないでしょうが、やはりその結果が起す大きな問題まで考えられない程度の人達なのでしょうか。判断力の低下としか考えられませんが。

昔の人は、性善説、性悪説と云っておりましたが、もともと人は性悪説であり、生まれてからの教育や環境等で性善説になっていくとのことでした。やはり、小さな頃からの教育が必要ではないのでしょうか。それによって善悪の判断が出来るようになるのではないのでしょうか。

先日、スーパーのレジでお母さんが買った商品をレジ袋へ入れておりました。そこへ小さな子がレジを通してない商品を持ってきたところ、お母さんは素知らぬ顔でそれをレジ袋に入れてスーパーを出て行きました。小さい時からの教育が大事だと改めて思いました。



初詣に行きました

平成最後の元旦から、はやひと月が経過しました。今冬は暖冬で、小雨のため空気が乾燥し、インフルエンザもあちらこちらで流行しております。おまけに花粉の飛散量も例年より多く、「インフルエンザ花粉症」という新たな病名も流行しております。



各施設では、一人ひとりが昨年の感謝と今年一年の皆の健康と平和を祈願するために寺院へ初詣に行きました。



破傷風について

破傷風とは

破傷風とは、傷口に感染した破傷風菌がつくる毒素によって、開口障害（口が開けにくくなること）や排尿障害、けいれんなどをきたす病気です。

破傷風菌は全世界の土壌中に広く分布し、おもに傷口についた土などから感染します。特にアフリカ、東南アジア、中南米などの途上国では、ワクチンの不足や不適当な傷の手当などが原因で患者が多く発生しています。

日本では、三種混合ワクチン（ジフテリア・百日咳・破傷風）と二種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風）の定期接種が実施され、患者数は減少しています。患者の年齢分布は、若年層では予防接種を受けているため少なく、一度も予防接種を受けていないか、ワクチンの免疫が消失した高齢者層で多くなっています。

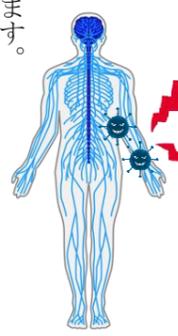


破傷風の原因

破傷風菌は、芽胞の形で土壌や動物の糞便中に常在する細菌です。土じりやときにできる目立たないほどの傷、釘を踏みこむことによる軽いけが、交通事故などをきっかけとして破傷風菌（芽胞）に感染します。

破傷風の症状は細菌そのものが引き起こすのではなく、破傷風菌がつくる毒素が原因となります。破傷風菌がつくる毒素には、神経毒（破傷風毒素、別名テタノスパスミン）と溶血毒（テタノリジン）の2種類があります。

破傷風の主症状である強直性痙攣の原因は、主に神経毒である破傷風毒素によるものと考えられています。外傷部位に侵入した芽胞は感染部位で発芽・増殖し、毒素をつくりだします。つくられた毒素は、外傷部位付近に存在する末梢神経に吸収され、脳や脊髄まで到達します。毒素は同部位で毒性を発揮し、筋肉が痙攣します。

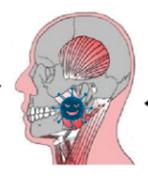


破傷風の症状

破傷風の症状は、全身の筋肉にけいれんが生じる「全身性破傷風」が典型的です。感染してから、通常3週間までの潜伏期間を経て、徐々に全身の筋肉に影響が現れます。症状が現れる筋肉・時期に応じて第1期から第4期に分類することができます。

【第1期】
口が開けにくいことが破傷風の初発症状であることが多く、「開口障害」と呼びます。首筋の張り、寝汗、歯ぎしりなどの症状も現れます。

【第2期】
開口障害は徐々に強くなり、顔の筋肉がいつもけいれんし、皮肉笑いをしているような顔になります。この症状を痙攣と呼びます。



また、このような顔貌は破傷風顔貌と呼ばれます。

【第3期】
顔面の筋肉のみならず、首から背中、全身の筋肉に毒素の影響がみられるようになります。その結果、弓を置いたように後頭部と踵しか地面につけていないような体勢となります。この姿勢のことを「後弓反張」と呼びます。

さらに、発作的にけいれんをきたす時期でもあります。突然、手足が強く固まり、全身の筋肉が固くなって身動きがとれなくなる発作を繰り返します。数秒から数分で元に戻りますが、病状の進行とともに時間が長くなっていきます。この発作は光や音、振動といった刺激で誘発されます。

【第4期】
これまでにみられた症状が、徐々に回復する時期です。第1期から第3期までの時間経過が短い（48時間以内）ほど経過は悪いといわれています。



検査、診断・治療

【検査、診断】

破傷風の診断は、典型的な臨床経過（開口障害から始まる症状など）から診断されることが多いようです。また、外傷で汚染された部位を中心として、破傷風菌が存在しないかどうかを確認するための培養検査を行うこともあります。菌を検出できるかどうかに加えて、検出された場合に、その菌が毒素をつくるかどうかを検討します。血液検査から、破傷風菌毒素に対する抗体検査を行うこともあります。

【治療】

破傷風の治療では、毒素に対する抗体（抗破傷風ヒト免疫グロブリン）を投与します。しかし、病状が進行した状態では治療効果は限定的であり、できる限り速やかに投与することが必要です。また、発症時にはさまざまな合併症が出現するため、症状をやりわらげる対症療法を行うことも求められます。

刺激で発作を起こさないように、暗く、静かな部屋で安静にさせます。呼吸を助けるために、人工呼吸器を使うこともあります。けいれんが起きた場合、けいれん止めの薬を使います。



破傷風の予防

破傷風を発症すると、治療による救命が叶わないこともあるため、予防が大切です。

【予防接種】

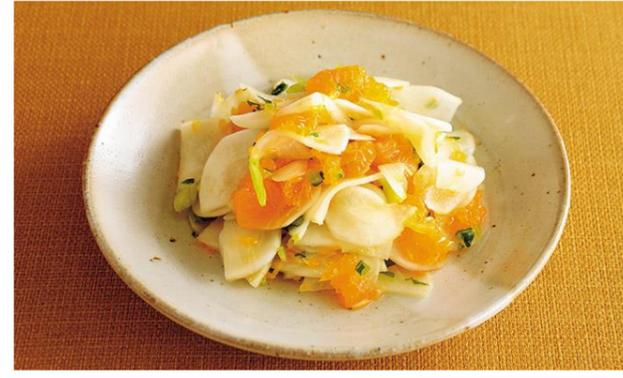
予防方法には、**予防接種**があります。日本では、破傷風菌に対する**予防接種は、「定期接種（国や自治体が乳幼児に接種を強くすすめている予防接種）」の対象となっています。**破傷風以外にもジフテリア、百日咳、ポリオと合わせた4種混合ワクチン（DPT-IPV）が、生後3か月以降に計4回接種されます。接種してから10年経つと次第に効果が低下してくるため、最後の接種から10年以上経って大きな怪我をした場合、病院を受診し、追加で接種する必要がありますか相談してみましよう。

【日常的な予防方法】

日常的な予防方法としては、破傷風菌が体内に入らないようにし、傷ができたときはすぐに流水で十分に洗います。自宅に対応できないような大きな傷や、汚い場所で怪我をしたときは、病院を受診することが大切です。特に破傷風菌に感染するリスクの高い傷には、やけど、泥のついた傷、唾液に汚染された傷などがあります。病院では必要に応じて傷口を広げて奥の汚れを洗い出します。

破傷風の予防接種をしつかり受けていなかったり、**最後の予防接種から10年以上経った方**の場合には、追加接種という形で破傷風毒素に対する薬を注射することもあります。

葉に栄養豊富！胃もたれ、胸やけ解消、整腸作用に『カブ』



カブとみかんのサラダ

- 【作り方】**
- 1.カブは皮をむき、薄いいちょう切り、茎は細かく刻み塩もみする。しんなりしたら水気を絞る。
 - 2.みかんは皮をむき、薄皮をとり食べやすい大きさにちぎる。
 - 3.ボウルに A を入れ混ぜ合わせる。
 - 4.1.2.を3に入れ混ぜ全体になじんだら器に盛りつけ完成♪

【材料】
カブ…2個(小)、カブの茎…適量、塩…少々、みかん…小1個
A { オリーブオイル…大さじ1、はちみつ(砂糖でも可)…小さじ1
酢…小さじ1、塩こしょう…少々

【豆知識】
春の七草であるスズナとはカブのことで、スズシロとは大根のことです。どちらも葉っぱに栄養が多く含まれています。見た目も栄養素もよく似ていますが、大根は辛みがありシャッキとしているのに対し、カブはクセがなく柔らかいのが特徴です。煮ても焼いても美味しいですが、サラダにして食べるのもいいですよ。